事業完了報告書

提出日：　2023 年　3 月　10 日

1．事業概要

（1）実行団体名：一般社団法人 DiVE.tv
（2）事業名　：　教育と仕事をつなげる愛知モデル構築プロジェクト
（3）事業実施期間：2020 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
（4）資金分配団体名：公益財団法人日本国際交流センター

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☐ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。 2021 年 6 月 18 日、7 月 12 日の 2 日間、外部講師に依頼し理事組織体制強化の研修を行い 4 名の理事が出席した。 2022 年 7 月 20 日の理事会にてガバナンス・コンプライアンス体制の整備および強化について検討した。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
☑ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 外部：恒川税理士事務所／2023 年 5 月下旬に実施予定 内部：土田和希人（監事）／2023 年 6 月上旬に実施予定
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	6 月 22 日　NHK 名古屋「まるっと！」にて放映 3 月 6 日　Nippon Jã 新聞（ポルトガル語）に掲載 3 月 6 日　Alternativa ウェブ版（ポルトガル語）に掲載 3 月 6 日　Portal Japão ウェブ版（ポルトガル語）に掲載
広報制作物等	有	7 月 6 日　フリーペーパーMAPA magazine 発行 2023 年 4 月 25 日に第 2 弾 MAPA magazine を発行予定
報告書等	有	2023 年 5 月 31 日までに公開予定

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

本助成を通して最も強化されたのは、経理と人事の体制です。以前は会計作業も全て外部の税理士事務所に委託していていましたが、2022 年より部門別会計を内部で行えるよう会計専任の従業員を雇用しました。また以前は従業員が少なかったため個別に作業指示していましたが、本助成によって複数の従業員を雇ったことにより、各自が自発的に動きチームとして目標を達成するためのミーティング方法や個別対応を模索・改善することができました。今後は採用基準や評価基準をつくり、従業員の成長を促せるようになることが課題です。
あればよいと思う支援は、非営利組織の運営や経営について具体的に助言してもらえる専門家の紹介や無料コンサルです。助成金を活用してコンサルを依頼するのではなく、困った時（必要性が生じた時）にいつでも相談できる非営利組織運営/経営の専門家および補助金があると、効果的に組織改革ができるのではないかと思います。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

1）知立拠点における日本語ワークショップ

外国にルーツをもつ若者を対象に、アルバイトの応募時に必要な日本語を学ぶ連続ワークショップ（全 8 回）を開催した。

2）居場所づくり

土曜の午後は、写真クラブや映画ワークショップなど好きなことを通して自己肯定感を高めるためのプログラムを実施。写真は映画ワークショップの前段階として行なった映画上映会の様子。

3）ブラジル学校における日本語ワークショップ

在日ブラジル学校の中学 1 年から高校 3 年の全 10 クラスの日本語の授業内で、キャリア教育に関する内容のワークショップを行なった。写真は 3 年 2 組の生徒たち。

４）オンラインシンポジウムを開催
本事業の成果報告を兼ね、「ブラジルにルーツをもつ高校生のキャリア支援について考えるシンポジウム」を 3 月 18 日に開催し、約 70 名が参加した。

５）体験型キャリア教育イベントを開催
自分の興味のある分野で働く社会人の話を聞き、かつその人の職業を体験できるイベント「Career Expo」を開催した。第 1 回はアート、第 2 回は美容をテーマに、各回とも約 10 名のゲストと約 50 名の若者が参加した。